令和８年度第１回西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会　議事録

開催日時	令和８年１０月７日（水）　午前１０時～午後０時５分
開催場所	西尾市役所　４１会議室
出席者	委　員：千頭聡 会長、黒野善久 副会長、磯貝剛 委員、山本 吉明 委員、 　　縦山幸彦 委員、紅野雅之 委員、木下典子 委員、内藤貴久 委員 事務局：石川哲 秘書政策課長、藤村知史 秘書政策課主査 　　岩瀬康伸 スポーツ振興課課長補佐、鈴木貴夫 スポーツ振興課主査、 　　三浦一志 観光文化振興課主査、高須健輔 商工振興課主任主査
欠席委員	鳥居正之 委員、天野栄 委員
傍聴者	０名（報道機関２名）
内容	午前１０時 開会 **１ あいさつ** 【事務局（秘書政策課長）】 　国は現政権が掲げる地域未来戦略に基づき、これまでの地方創生の流れを引き継ぎつつ、地方への大規模投資による産業クラスターの形成など、経済・産業を重視する方向へシフトしている。本市も国の動向を注視しながら、昨年度策定した第３期総合戦略に基づき取組を進める。 　本日は、第２期総合戦略の取組状況を検証・評価いただき、頂戴した意見を第３期総合戦略の取組に反映したい。 **２ 議題** **（１）総合戦略に基づく施策の令和７年度取組状況等について** 【千頭会長】 　議題１について、事務局から説明をいただきたい。 【事務局】 （資料１－１、１－２に基づき説明） 【千頭会長】 　議題１について、ご意見・ご質問をいただきたい。 【縦山委員】 　ふるさと納税の寄附額は県内でも上位かと思うが、何番目か。どのような返礼品が人気上位になっているのか。 【事務局】 　寄附額では県内では名古屋市に次いで２番目に多かった。人気上位の返礼品は、冷凍むきえび、みりん、うなぎなどである。 【縦山委員】 　ふるさと納税について、西尾市民が他自治体へ寄附したことによる影響額はどれくらいになるのか。

【事務局】
令和７年度の市民税控除額は、約６億４千万円である。そのうち、75％は地方交付税により補填される。

【山本委員】
外国人宿泊者数の目標が達成出来ていない。中国との外交関係もある中、目標設定についてどのように考えているのか。

【事務局】
目標設定当時は、国全体でインバウンドを取り込む流れがあったが、コロナ禍を含め観光業界自体が大きく変わり、想定通りにはいかなかった。本市の観光は日帰りが多いため、第３期総合戦略でも外国人宿泊者数を引き続き KPI として設定している。

【千頭会長】
中国に頼らないインバウンドの取組も考えていく必要があると思う。

【磯貝委員】
書かない窓口システム導入事業で事前申請しておけば、来庁時に証明書が発行済みになっているのか。

【事務局】
証明書の発行は来庁後となるが、申請書の記入・受付時間が短縮できるため、転出入を伴う手続きなどは滞在時間が通常の申請よりも大幅に短くなる。

【磯貝委員】
もっと周知が進めば来庁者にとっても職員にとっても時間が短縮できてよい。

【事務局】
コンビニ交付の周知を進めるとともに、市役所ロビーにもキオスク端末を設置し、セルフで証明書を発行できるようにしている。

【樅山委員】
子ども医療費の助成は全額助成か、一部助成か。

【事務局】
保険診療の自己負担分を全額助成する制度である。

【樅山委員】
西尾市の図書カード発行割合は他市と比べても多いと感じている。子どもの読書推進は効果の検証が難しいが、子どもが本を読むようになっていると感じる。幼少期から本に親しむ取組は重要であり、継続してほしい。

【事務局】
ブックスタート事業をはじめとして、幼少期から本を読む習慣をつけるような取組を市としても力を入れている。

【木下委員】
生涯学習センターの供用開始が令和９年からとのことだが、第３期総合戦略の KPI としてセンターの利用者数などの目標は設定しているのか。

【事務局】
そのような指標は設定していない。

【千頭会長】
結婚支援事業の参加者の状況はどのようか。

【事務局】
専門事業者に委託しており、職員も現場で参加者と意見交換しているが、募集に対する男女の応募状況には偏りがある。マッチングしたとしてもその後の効果の把握は難しいため、予算を縮小しつつ効果の拡大を狙うこととした。これまでの事業を通じて結婚に至ったとの報告は１組だけである。

【黒野副会長】
スマートアグリシティ西尾構想については、市からも補助を受けながら施設を建設しているところであるが、農業分野においても雇用の確保などに努めていきたい。

【磯貝委員】
製造業従業者数の減少について、大企業と中小企業の内訳は分かるか。大企業は省人化で人を減らせるが、小規模事業者は採用したくても人が来ない状況であり、その違いが見えるとよい。

【事務局】
数値は国の経済構造実態調査を基にしており、規模別の状況が把握できていない。いただいたご意見を参考に社会動向を把握するようにしていきたい。

【樅山委員】
KPI のうち「東京での物産展における西尾市の認知度」について、アンケートはどのようにとっているのか。

【事務局】
横浜で開催されたイベントでアンケートをとり、総数 118 名に聞いた。

【樅山委員】
事業承継支援のノウハウを、茶農家や養鰻業者など他産業の組合・関係者にも広げていくことは出来るか。後継者問題は今後さらに深刻になる。

【黒野副会長】
JA 西三河で導入している機器などは専用のものが多いので、そのまま横展開は難しいが、データやノウハウなど可能なものは他産業にも共有していきたい。

【紅野委員】
事業承継支援実績について、業種や規模などの傾向はどのようか。

	【事務局】 商工会議所等とも連携して創業支援を実施しており、傾向としては幅広い業種について個人事業主としての創業希望者が多く、参加者も女性が多い。 【内藤委員】 佐久島の来島者はコロナ前の水準に戻っておらず、市営渡船の運賃値上げもある。スポーツ協会として、小学生の陸上合宿の誘致や、地域おこし協力隊員による佐久島のバーチャル空間づくりなど、島の活性化に協力していきたい。 【千頭会長】 かつてのブームのような観光客数を追うより、島の暮らしが維持できるよう中身で勝負することも大事である。 【千頭会長】 ほかにご意見もないようですので、議題（1）総合戦略に基づく施策の令和７年度取組状況等について、効果があったということを確認してもよろしいか。 【各委員】 異議なし。 **（2）令和７年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）の事業実績等について** 【千頭会長】 つづいて、議題２について、事務局から説明をお願いしたい。 【事務局】 （資料２に基づき説明） 【千頭会長】 議題２について、ご意見・ご質問をいただきたい。 【木下委員】 総合体育館で開催されたアジア競技大会（ボクシング）については、成果はどのようだったか。 【内藤委員】 約２週間の期間で、初めのうちは盛り上がりに欠けた部分もあったが、勝ち進むにつれて盛り上がり、大きなトラブルなく終了した。 【磯貝委員】 西尾未来共創拠点運営事業において交付する補助金は、この拠点で相談をしない限り補助対象とならないのか。 【事務局】 そのとおり。アドバイザー等との相談の中で新規事業の計画を立て、その実行に必要な資格・設備等に補助を充てる仕組みのため、相談が前提である。金融機関や商工会・商工会議所等に相談している場合は補助対象外となる。

【磯貝委員】
審査をきちんと行うのは当然だが、同じ創業希望者でも相談の入口が違うだけで補助金が使えないのは制度として疑問である。もっと間口を広げるべきではないか。

【事務局】
これまでの補助制度では、条件に当てはまれば本当に必要か分からない備品整備などにも補助金が交付されてしまうという制度設計の難しさがあった。ニコラボでは、相談を重ねて計画や熱意、必要不可欠な設備等が見えたものに絞って補助する制度とした。
今後、本補助金は縮小・廃止する予定であるが、新たに補助制度を設計する際は、いただいた意見を参考にしていきたい。

【山本委員】
拠点施設整備計画の「国内トップレベル大会の開催数」について、資料１－２との整合が取れないが、どのような基準で計上しているのか。

【事務局】
全日本社会人ボクシング選手権大会、女子ジュニアボクシング選手権大会、ＳＶリーグ女子（２回)、Ｗリーグの５回で、基準年２回からの増加分として３回としている。
確認して、後日、回答させていただく。(※資料修正あり)

【千頭会長】
ほかに質問もないようですので、議題（２）について、各事業が総合戦略の取組に効果があったという点と、西尾未来共創拠点運営事業で引き続き交付金を活用していくことを確認してもよろしいか。

【各委員】
異議なし。

３ その他

（１）令和８年度西尾市将来人口推計について
（２）地域未来戦略について

【千頭会長】
次第３その他について、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】
（資料３、４に基づき説明）※質疑無し。

【千頭委員】
以上をもって、第１回西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を終了する。

午後０時５分 閉会